

3. なんば・天王寺・あべの周辺地区の整備・事業の取組状況

■天王寺動物園における「天王寺動物園101計画」に基づいた獣舎整備や生物多様性の取組み

- 大都市大阪にふさわしい都市型動物園として、魅力向上や機能向上、進化型生態的展示をめざした施設整備、経営計画を組み込んだ具体的方策として天王寺動物園101計画を策定。獣舎整備や環境教育を行っている。

《ペンギン・アシカ舎の完成イメージ》※2022年度に完成予定



《ふれあい・家畜舎の鳥瞰パース》※2022年度春にオープン予定



《ホッキョクグマ舎の完成イメージ》



《園内の教室でお話する「ズー・スクール」》



3. なんば・天王寺・あべの周辺地区の整備・事業の取組状況

■ 阿倍野再開発事業

天王寺・阿倍野ターミナルの南西において、昭和51年度から平成29年度までの42年間をかけて実施された阿倍野再開発事業により、あべのキューズタウンなどの大規模商業施設やタワーマンションなどが整備された。



現況全景写真

《Hoop》



《あべのマーケットパーク キューズモール》



《あべのハルカス》



出典：大阪公式観光情報OSAKAINFO、
都市再開発法制定50周年記念 ～時代を画した再開発事業～（公益社団法人 全国市街地再開発協会）

3. なんば・天王寺・あべの周辺地区の整備・事業の取組状況

■ 上町台地における歴史的まちなみ整備

上町台地ではJR大阪環状線の内側を「マイルドHOPEゾーン」として位置づけ、とくに地域魅力を高めるポイントとなる四天王寺・夕陽丘エリアにおいて、歴史やまちなみの特性を踏まえた「まちなみガイドライン」を定めている。

Before



■四天王寺西門前
(既存店舗の改修)
外壁を漆喰塗と杉板貼とし、軒庇と木製看板を創出することで、「門前町の雰囲気づくりに一役買っています。

After



Before



■四天王寺参道
(既存店舗の改修)
柿渋染の2階紋格子と1階の細目格子障子が特徴で、参道のまちなみにふさわしい工夫がなされています。

After



【まちなみ修景の事例】



四天王寺西門前の道路修景



史蹟「伝 藤原家隆墓(家隆塚)」の再整備



3. 御堂筋周辺地区の整備・事業の取組状況

■まちづくり団体等の状況

「大阪エリアマネジメント活性化会議」（2017.1月発足）の会員のうち、2団体がなんばで活動を行っている。

①ミナミまち育てネットワーク

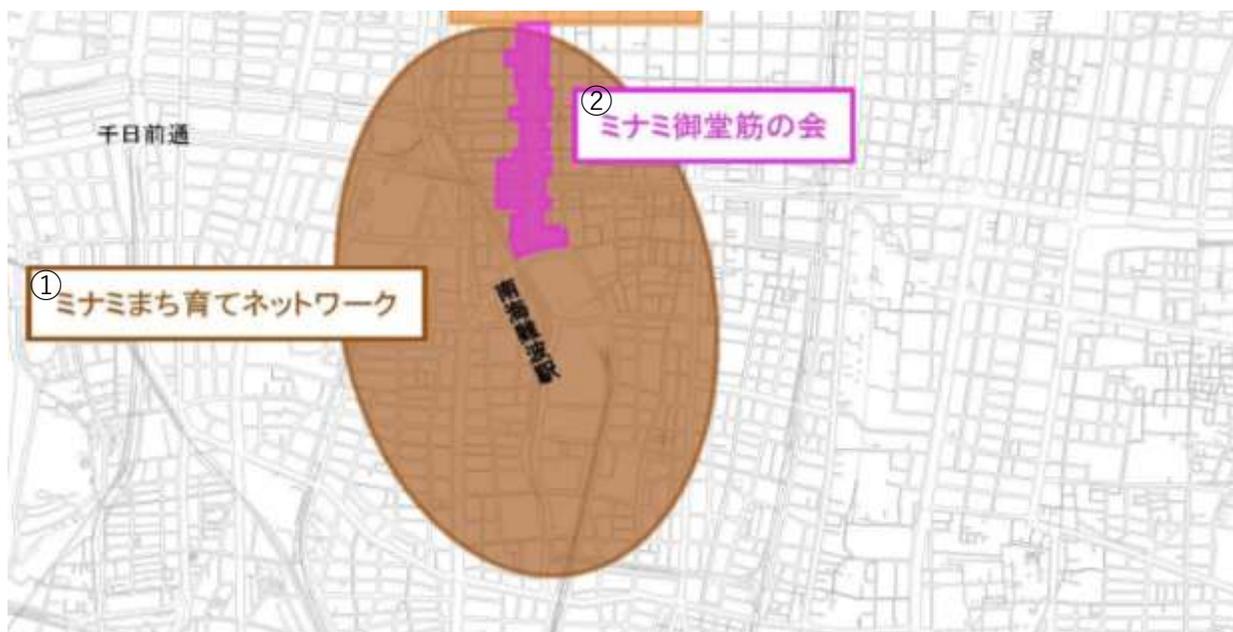
主な活動

- イベント開催（ミナミ学生音楽祭）
- 清掃活動（地元町会等も一緒になった清掃活動）
- エリア防災（セミナーを通じた防災意識の向上など）

②一般社団法人 ミナミ御堂筋の会※

主な活動

- 道路の維持・管理活動（放置自転車対策、清掃、美化活動など）
 - 景観形成やイベントへの協力・連携（御堂筋イルミへの協賛など）
 - 情報交換会
- ※御堂筋における道路協力団体（指定期間R2.10月～R7.10月）としても指定されている



4. なんば・天王寺・あべの地区の対象範囲

■ 対象範囲の考え方

地理的に大きく、北側のなんばエリアと南側の天王寺・あべのエリアに分けられる。

《なんばエリア》

- なんばエリアは、エリア全体として観光客を呼び込みおもてなし空間となるみどりのまちづくりをすすめるエリアとする。
- エリアの核となる区域は、大阪のミナミの玄関口となる南海なんば駅、JR難波駅周辺とし、それぞれなんばパークスやOCAT周辺を取り込みながら、また、なにわ筋線新駅とのネットワークも視野に入れ、2拠点の連携を図る。

《天王寺・あべのエリア》

- 天王寺・あべのエリアは、JR天王寺駅を中心に、天王寺公園の機能充実と周辺のまちの魅力づくりを一体化させたエリアとして設定する。
- 駅北側の天王寺公園は、観光客や市民の方々が集まり、みどりを存分に楽しめるよう、動物園やエントランス広場、美術館周辺など特色あるエリアで構成する。
- 駅南側はまちの活性化を目指し、すでに完成している再開発区域一帯を位置付ける。



5. なんば・天王寺・あべの地区の“みどり”に関する課題の整理

緑の基本計画で示されている5つの基本方針の観点から、以下のとおり課題整理した。

①だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの基盤”を構築する

- なんばエリアなどターミナル駅周辺は高密な土地利用となっており、都心のみどりのシンボルとなるような人が集い憩える空間が求められる。

②みどりを市内及び周辺につなげていく“みどりのネットワーク”を構築する

- 御堂筋やなんばパークス等のみどりのストックを周辺地域にひろげることが望ましい。

③大阪の個性を特徴づける自然・歴史・文化の“みどりの骨格”を形成する

- 上町台地上にある天王寺公園は、大阪の個性を特徴づけるみどりの骨格の一部として、緑環境の維持向上と更なる魅力向上策が求められる。

④既存ストックと民間活力を最大限に活かし、“みどりの都市魅力”を創出する

- 南海なんば駅前の駅前広場は、玄関口にふさわしい上質で居心地の良い空間が求められる。
- 主要ターミナル周辺においては、緑化ストックをさらに周辺へ広げ、国際ゲートにふさわしいみどりづくりを進める必要がある。

⑤市民・事業者・行政が将来像を共有し、みどりのまちづくりを推進する“仕組み”を構築する

- 関係事業者等と連携しながら、みどりのまちづくりを推進していく必要がある。

6. なんば・天王寺・あべの地区 緑化等の方針の検討（たたき案）

－ 基本方針 －

天王寺公園を核としたみどりの拠点づくりと
なんば・天王寺・あべのを歩いて楽しめるみどりのまちづくり

個別方針①

大阪南部の玄関口を
象徴するみどりの拠点づくり
と機能の充実

- 上町台地に残る大阪の歴史・文化を感じられるみどりの保全育成
- 庭園や動物園など都心魅力を創造し発信するみどりの創出と管理運営
- 生物多様性に関する情報発信や環境教育の場としての機能の充実

個別方針②

大阪ミナミのシンボルとなる
居心地の良い
おもてなし空間としての
みどりの創出

- ミナミの新たなシンボルとなり、憩いの場となる駅前の上質で居心地の良い空間の創出
- 大規模開発等における屋内外の立体的なみどりの創出
- 公開空地など開発によるおもてなし空間となるみどりの創出

個別方針③

各エリアにおいて誰もが
安心して回遊を楽しめる
歩行者環境の形成

- 主要な観光資源等をつなぐ主要街路やみどりの保全育成
- 道路隣接地の建物所有者等と連携した花やみどり豊かな心地よい歩行者環境の形成